

高校生に届け！

～高松盆栽と香川大学の魅力～

代表者 永野 由（経済学部経済学科2年）

1. 目的と概要

現在、海外では日本の文化や伝統工芸は『cool japan』と評価されており、盆栽も『BONSAI』の表記で人気が高まっている。一方で、香川県高松市は松盆栽の全国シェアのおよそ8割を占める名産地であるにもかかわらず、国内における高松盆栽の認知度は低く、若い世代には親しみがない、後継者不足という問題を抱えているのが現状である。これらの背景には、一般的に盆栽に対して抱かれる「男性」「高齢者」「高価」といった親しみにくいイメージの影響があると考えられる。



そこで、本プロジェクトは世間のイメージとは正反対の私たち女子大生が、プロの盆栽作家と盆栽に興味を持つ初心者を繋ぐ架け橋のような存在となり、高松盆栽の認知度を向上させることを目的として活動している。今年度は高校生をメインターゲットとして、苔玉づくりのワークショップを主に開催した。

2. 実施期間（実施日）

令和3年6月19日から 令和4年3月31日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

今年度の事業では、高校生をターゲットとした苔玉づくりワークショップの開催を目指して、香川県・岡山県の高校へ声かけを行った。新型コロナウイルス感染症の影響で開催が叶わなかったものもあったが、結果としては計4回実施することができた。

高校生向けのワークショップでは、普段行っている苔玉づくりに加えて、香川大学の特徴やプロジェクト活動の紹介、大学生活や受験のアドバイスなどを行う時間を設けた。高松盆栽だけでなく香川大学の魅力も伝えられ、さらには高校生の不安や疑問にも答えられる、とても良い機会になったと考えている。具体的には、少人数のグループに分かれて座談会形式で質疑応答を行うことで、高校生も気軽に質問ができ、より満足のでき

る交流を実現することができた。また、香川大学を志望しているという高校生も多く、メンバーの体験談が参考になったという声も寄せられた。

1回目は、11月1日に高松商業高校にて開催した。参加者は生徒39名、教員1名の計40名であった。高松商業高校では以前にもワークショップを実施したことがあり、非常に高評価であったことから今年度も開催の依頼を快諾していただいた。また、ワークショップで用意した黒松の中には数字の形に幹を曲げているものがあり、参加者からも好評であった。



2回目は11月17日に坂出商業高校で行った。参加者は生徒16名、教員5名の計21名であった。それまでに行ってきたワークショップの経験を活かし、スムーズに準備や説明を行うことができた。一方で、メンバー自身をもっと盆栽の知識を身に付ける必要があるといった課題も見つかった。



3回目は11月19日に高松第一高校で行った。参加者は生徒10名、教員4名の計14名であった。苔玉作りの途中難しい部分では、生徒同士がアドバイスし合いながら作っているのが印象的であった。また、メンバーと生徒が少人数のグループに分かれた際には多くの質問をくれるなど、香川大学やBGPに興味を持っている学生も多かったと感じる。途中でトラブルもあったが、メンバーで協力し合い、ほとんど影響無くワークショップを終えることができた。



4回目は12月15日に高松西高校で行った。参加者は生徒32名、教員1名の計33名であった。参加者には地域活性化に興味を持っている学生が多く、男子生徒の割合も多かった。あまり苔玉作りが上手くない生徒には1人のメンバーが手伝いにつくようにし、全員が同じペースで進められるよう工夫した。1年生のメンバーが初めて苔玉作りの説明に挑戦したため少し時間が押してしまったが、



その後のミーティングで反省点

を共有し、次回から改善できるよう話し合いを行った。

以上のようなプロジェクト事業により、高校生などの若者を中心に多くの方が盆栽に触れる機会を創出できたと考える。アンケートからも参加者の満足度は高く、私たちも新たな層へアプローチをすることができたと感じられたため、これからも引き続き行っていきたい。さらには、ワークショップの開催により普段関わる機会のなかった地域の方と交流を深めることもできた。今後も事業を継続し、盆栽の魅力伝える場や地域の方とのつながりを大切にしていきたい。

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

この事業を実施したことにより、高松盆栽の認知度だけでなく、香川大学や Bonsai Girls Project の知名度も向上させることができたと感じる。今年度を実施した高校生向けワークショップでは、苔玉づくりのほかに香川大学の紹介や他の地域活性化プロジェクトの紹介なども行った。大学受験を控える高校生に向けて、香川大学の魅力や香川大学ならではのプロジェクト活動について PR することができたと感じている。さらに、今年度も昨年度に引き続き様々なメディアで取り上げていただく機会が多く、同時に自身の SNS での情報発信も活発に行ったことが影響にあると考えている。具体的には、NHK、KSB 等のテレビ局からの取材や、地元インターネットメディアである「ガーカガワ」による取材などが挙げられる。

地域社会に与えた影響としては、香川の名産品である盆栽を通じて、鬼無や国分寺地区といった地域の活性化に貢献することができたと考える。また、定期的な盆栽教室やワークショップの開催により、地元の盆栽作家や企業、学校等とのつながりを持つことができた。さらに、プロジェクト活動を通して、私たち学生も責任感や協調性など社会に出て役立つ能力を培うことができたと感じる。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

今年度開催したワークショップは、主に高校生を対象としたものであった。高校生向けのワークショップはこれまでの活動上ほとんど経験のない試みであったことから、従来のワークショップとは異なる要素を取り入れようとメンバー間で意見を出し合った。そして、香川大学の紹介や大学生活についてのプレゼンテーションなどを実施し、参加者から高い評価を得ることができた。マニュアル化した活動の中に新たな要素を加えることで、より主体性や発想力が身についたと考える。ワークショップ後には必ず振り返りを行い、反省点や課題を見出してプロジェクト内で解決策を模索した。次回のワークショップではそうして考え出した案を活かすことができるよう、積極的に改善活動を行った。また、高校の教職員の方々との交流を通して、礼儀作法やマナーについても学ぶことができた。

6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

今年度の反省点は大きく2つある。

第一の反省点としては、予定通りに苔玉を使い切ることができなかったことが反省に挙げられる。新型コロナウイルス感染症の影響で2月末に予定していたワークショップが急遽中止となってしまい、発注していた苔玉33個を使い切ることができず、盆栽園の方に管理の面で負担をかけさせてしまった。今後も感染症の影響で不安定な情勢が続くと予想されるため、極力在庫が発生しないよう、対策を事前に考えておく必要性を強く感じている。今回の反省を踏まえ、今後は変化する状況にも柔軟に対応できるよう、先を見据えた行動を心掛けたい。

第二の反省点としては、申請時に予定していた岡山県でのワークショップが実現できず、交通費分の予算が消化できなかったことが挙げられる。早期の段階で切り替えを行い、香川県内の高校にも声かけを行ったのだが、参加者が集まらず開催は断念となってしまった。予定通りにワークショップが開催できない場合に備えて、より入念に代替策を計画しておくようにする必要があったと感じている。来年度も新型コロナウイルスの感染状況を見ながらにはなるが、能動的に行動し、多くの方に盆栽に触れていただく機会を作りたいと考えている。

一方で、今年度実際にワークショップを行った高校、ならびに感染症の影響で開催はできなかった高校も含め、多くの高校から来年度の開催にも期待していると声をかけていただいた。より質の高いワークショップを実現できるよう、メンバー間で案を出し合い、今後は新しい要素を加えるなどさらに改善を重ねていきたい。

7. 実施メンバー

代表者	永野 由	(経済学部2年)		
構成員	角田 綾花	(経済学部4年)	福田 里緒	(経済学部4年)
	山村 明日花	(経済学部4年)	森井 琴美	(経済学部4年)
	大久保 愛	(教育学部4年)	近藤 愛鈴	(創造工学部4年)
	芦田 咲月	(経済学部3年)	家喜 あすみ	(経済学部3年)
	楠 結衣	(経済学部3年)	河野 智美	(経済学部3年)
	小林 由佳	(経済学部3年)	近藤 里紗	(経済学部3年)
	篠原 鈴花	(経済学部3年)	高山 佳恋	(経済学部3年)
	槌道 由奈	(経済学部3年)	山形 亜実莉	(経済学部3年)
	岡本 奈々	(経済学部2年)	梶川 瑠璃	(経済学部2年)
	植田 菜月	(経済学部1年)	應江 あかり	(経済学部1年)
	香川 夏実	(経済学部1年)	川原 つかさ	(経済学部1年)
	河原 由依	(経済学部1年)	桑原 優月	(経済学部1年)
	南 羽寧	(経済学部1年)	美馬 妃華	(経済学部1年)
	森前 ひなた	(経済学部1年)	渡部 里莉花	(経済学部1年)

8. 執行経費内訳書

配分予算額		298,800円		
執行経費(品目等)	数量	単価(円)	金額(円)	備考
苔玉材料(11月1日分)	40	1,650	66,000	
苔玉材料(11月17日分)	21	1,650	34,650	
苔玉材料(11月19日分)	15	1,650	24,750	
苔玉材料(12月25日分)	33	1,650	54,450	
苔玉材料(2月25日予定分)	33	1,650	54,450	
合計			234,300	